

3期12年 若さと情熱で全力投球

日本共産党 市議会議員

おかむら伸
岡村しん



45歳

防災・まちづくり
に全力

2児の子育て
真つ最中

3期12年、市民の命と暮らしを守ることに注力してきました。

7歳と3歳の子どもを育てる親として、子育て対策の推進、災害対策やまちづくりなど住みよい狛江の実現に全力でがんばります。

そして、物価高で苦しむ市民の暮らしを守り、憲法が活かされ個人の尊厳が守られる社会をつくるために、力をつくします。



岡村さんとは20年以上前、府中の診療所で一緒に働いていました。とても忙しい日々でしたが、その中で岡村さんは、高齢で病を抱えた方とご家族などがどんなに大変な状況にあるかを身をもって体験しています。その事が現在の議員活動に大いに生かされているな、といつも頼もしくみています。



元同僚
原田耕平

【略歴】1978年東京都生まれ45歳。
狛江市立三小・二中、東京農業大学第一高等学校、青山学院大学経済学部二部経済学科卒 ●みなみうら生協診療所・事務主任 ●2007年の狛江市議選で初当選、以来3期連続当選 ●現在、建設環境常任委員会委員長、都市計画審議会委員。党市議団副幹事長 ●家族は妻、子ども2人 ●趣味は読書、サッカー観戦

岡村しの「なんでも相談」

お困りごとや市政への要望などお気軽にお寄せ下さい。

【連絡先】
自宅事務所：岩戸南 1-6-1-323
☎ & fax：6751-2757
mail：okashin217@yahoo.co.jp



東京都に調布・狛江への保健所復活を要請（左から4人目が岡村議員、2021年2月）

交通不便地域をなくそうと三鷹市の小型電動バスの実証運行を視察（2022年11月25日）



日本共産党
岡村しん

市民の願い実現に全力

日本共産党4⇒5人で暮らし応援第一の狛江へ

市議会
第2党へ

- 高校生までの医療費完全無料化
- 学童クラブの増設
- 30人学級実現、教職員の増員
- 特別支援教育の充実
- 国保税・介護保険料の負担軽減
- 補聴器購入費に助成
- 豪雨・地震災害対策の強化
- 調布・狛江への保健所復活
- 带状疱疹ワクチン接種費用の助成
- 市民参加で中央図書館を充実
- 気候危機打開、ジェンダー平等
- 南部地域の交通利便の改善

大軍拡・
増税ノ

消費税を
5%に緊急減税

介護負担
2倍化ストップ

学校給食費を無償に

岡村しんさんの活躍に期待します



皆さんと長年築いてきた市民本位の市政がいま崩されています。誰もが尊厳を持ち暮らせるまちへ、岡村しんさんを推せんします

元狛江市長
矢野ゆたか



日本共産党
参議院議員
山添 拓



前狛江市議
田中ともこ

民報こまえ

発行：日本共産党狛江市委員会 岩戸北 1-10-6 甲武ビル1階 3488-2977
2023年1月 日本共産党狛江市委員会は見解を発表しました。

命と暮らしを守るが原点 岡村しん

日本共産党
粕江市議会議員



2011年の東日本大震災直後の選挙で当選した岡村しん議員は、3期12年、「市民の命とくらしを守る」ことを原点に活動してきました。

災害死者ゼロのまちづくり

防災ラジオの貸出し制度実現



岡村しん議員は、一貫して災害対策にとり組み、防災カレッジの開設、危険なブロック塀の撤去費用助成、木造住宅の耐震化助成充実、止水板設置助成など実現しました。



国交省に多摩川の土砂掘削などを要請

「防災無線が聞こえない」という声を受け、防災情報がかたがたで鮮明に聞こえる防災ラジオ（上写真）の貸

出を11年間提案し続け、今年から避難に困難のある方に貸出が開始されました。

一般市民も利用できるよう検討が進められています。

豪雨対策では排水樋管への強力な排水ポンプの設置が決まりました。

子育て環境の充実を

学童クラブ2カ所新設へ

岡村しん議員は、保護者の切実な声を受け、保育園や学童クラブ待機児解消を訴えてきました。その結果、来年度以降、二中地域と和泉小地域に新たに学童クラブが開設され、また猪方学童保育所は、定員増をはかるための増改築されることになりました。

は、他市で実施されている児童館の日曜開放を求めてきました。ひきつづき実現をめざします。



4月に「(仮)猪方子どもクラブ」が開設される予定の第二中学校特別活動室

安心して住み続けられる粕江へ

市民参加・住民合意のまちづくりに全力

岡村しん議員は、一トトリ粕江ジョックピングセンターや電力中央研究所跡地のマンション問題など、市民の皆さんと力を合わせて、市民参加・住民合意のまちづくりをすすめる立場から継続的に質問してきました。

定されようとしている若戸北3・4丁目、住民の合意が取れているとは言えませんが、岡村しん議員は、粕江駅南口や和泉多摩川駅周辺の再開発など、市民の参加と合意によるまちづくりを求めています。

市民の健康を守るまち粕江へ

検査拡充、带状疱疹ワクチン助成求める



岡村しん議員は、市議会ですべての市民に新型コロナウイルス感染症対策について質問。PCR検査等

岡村しんの歩んだ道

三小・二中に通った粕江っ子



東京多摩市で生まれた岡村さんは、小学校4年生の時、両親と兄の家族4人で祖父の家がある若戸南三丁

目転居。三小、二中に通いました。三小では、BIGスポーツクラブでサッカー、みずほスターズ（現二小ウィングス）で野球に熱中。仲間と毎日暗くなるまでボールを追いかけました

職場と地域で、医療と青年の雇用を守る運動に



大学卒業後、診療所に勤務した岡村さんは、職場の労働組合委員長として医療の充実を求め、仲間とバスケットボール設置の運動や、雇用問題の街頭相談活動なども行ないました。

広島の水原水爆禁止世界大会に参加し、核兵器廃絶の運動に真摯にとりくんできた日本共産党の活動に共感し、党の一員に加わりました。

市議として子育て中のパパとして、市民要求実現の先頭に



2011年から粕江市議として、子育て、雇用、医療、まちづくり、安心安全など、暮らしの声を市政に届けてきました。

2015年に子どもが生まれた岡村さん。命の大切さ、子育ての喜びと大変さを改めて感じています。

いま、岸田自公政権のもとで、物価高騰がつづき、大軍拡や大増税、憲法改悪など、市民の暮らしが脅かされています。国の悪政から市民生活を守るのが市政の役割です。

岡村さんはいま、子どもたちのすこやかな成長を支援し、市民の暮らしを守る市政への転換をめざし、地域のみなさんと力をあわせて、全力でがんばっています。